

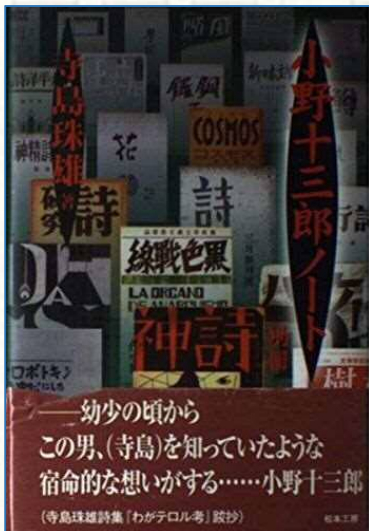


尼崎と作家たち 第44回

寺島 珠雄 (てらしま・たまお)

詩人

1925(大正14)年東京府北豊島郡(現・豊島区)生まれ。旧制中学中退後、職を転々とした。1943年横須賀第二海浜隊に入るが、外出から帰らずに戦時逃亡罪で海軍刑務所に服役。敗戦により保釈され私鉄に就職。兄とガリバン雑誌『ぶらつくー黒色或いは散策』を創刊。職場で組合を結成、組合長に。転職を繰り返し、各地を転々としながら詩作を続け、「平民新聞」などに寄稿した。1978(昭和53)年、尼崎に居を移し、晩年まで東七松町に住む。1999年肝臓および食道のがんにて死去。享年73歳。



作品介绍



「小野十三郎ノート 別冊」寺島 珠雄 / 著 松本工房 1997年発行

小野十三郎は青年期にアナキズムの詩人と言われた人物である。小野氏の仕事に関わり、最後まで側近でいた著者が書いた論証や回想、小野氏が人前でしゃべった時のテープ収録などをまとめた記録の集成である。1980年刊の「断崖のある風景」をふまえて別冊としてある。



読書週間行事のお知らせ



近松三百年祭記念
三二展示

公演ポスターにみる 近松作品の世界

近松門左衛門は、尼崎にゆかりの深い江戸時代の劇作家です。今年、生誕三百七十年かつ三百年忌となる近松にちなみ、浄瑠璃・文楽などの公演にまつわる明治・大正期から昭和・平成にかけての貴重な芝居番付・ポスター・プログラムなどの資料を展示します。また、「近松門左衛門」や「浄瑠璃・文楽」についての貸出できる本も集めました。ぜひご覧ください。

期間：12月27日(水)まで 場所：2階 エントランス

リサイクル・ブックフェア

図書館に寄せられた寄贈本や役目を終えた除籍本を、リサイクル本として来場者に提供します。

【日 時】 10月21日(土) 13:00~15:00

【場 所】 1階 セミナー室

【対 象】 尼崎市立図書館の貸出券をお持ちの方

- ・入場をお待ちいただくこともありますのでご了承ください。
- ・ご自身で持ち運びができる量を、持ち帰り可能冊数とさせていただきます。
- ・本を入れる袋をご持参ください。



本の寄贈にご協力ください。

寄贈のお申し出は開催前日まで受け付けます。
ただし、百科事典や全集、汚れや傷みのひどい本など、対象外とさせていただきます。
詳しくは事前に中央図書館へお問い合わせください。



ぬいぐるみのおとまり会(大人バージョン)

あなたのぬいぐるみを図書館で一晩お預かりします。
ぬいぐるみたちが夜の図書館を冒険している様子の写真を、後日お渡しします。

【日 時】 11月11日(土)
13:30~14:00

【対 象】 尼崎市の図書貸出券をお持ちの中学生以上の方(抽選5人)

【申 込】 10月12日(木)~10月26日(木)

専用メールフォーム、または直接、中央図書館カウンターまで。

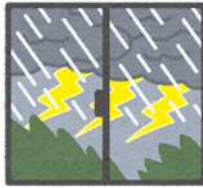
メールフォームは
こちらから



レファレンス室から

～新刊紹介～

『線状降水帯 ゲリラ豪雨から
JPCZ まで豪雨豪雪の謎』
(成山堂書店)2023年8月発刊



近ごろ天気予報などでよく耳にする“線状降水帯”という言葉。長時間一か所に留まって集中豪雨をもたらす筋状の雨雲のことですが、2014年広島集中豪雨被害以降よく使われるようになりました。まだわからないことも多いこの現象の構造・メカニズムをひもとき、防災に備えるための解説書です。

この資料は、3階レファレンス室で
ご覧ください。貸出はできません。

3階レファレンス室では調べもののお手伝いをします。遠慮なくお声がけください。

こんな質問がありました！

井上靖の小説「憂愁平野」は
雑誌に連載されていたそうだが
そのある一場面の挿絵を見たい。



キーワード「憂愁平野」で所蔵検索してみると、その小説が収録されている所蔵資料は『井上靖全集 第14巻』(新潮社)でした。巻末の解説に“昭和36年10月6日号より翌37年11月30日までの『週刊朝日』に(中略)61回にわたって連載”とあります。当館所蔵『週刊朝日』(朝日新聞社)の該当期間のバックナンバーを出納し、「憂愁平野」のページに当たっていくと、利用者の探している場面を昭和37年2月9日号、2月16日号に発見、該当の挿絵も確認することができました。

こんな本 入りました

『聞き書き・関東大震災』
森 まゆみ/著 (亜紀書房)



関東大震災から100年。地震の当日、人々はどのように行動したのだろうか。著者が地域雑誌『谷根千』を始めた頃に聞き取った体験者たちの声や、林芙美子など作家たちによる日記やコラムが掲載されている。

～一般室の本棚から～

『ラウリ・クースクを探して』
宮内 悠介/著 (朝日新聞出版)



ソ連時代のバルト三国・エストニアに生まれたラウリはコンピュータ・プログラミングの才能があり、ソ連の研究所で活躍することを目指していた。だがソ連は崩壊し…。時代の波に翻弄されながらも力強く生きて行く、感動の物語。

中央図書館100周年記念事業

かわぎし くにみつ

川岸 邦充 さん (難波小学校地域学校協働活動推進委員)

『イドコロをつくる 乱世で正気を失わないための暮らし方』

伊藤 洋志/著 (東京書籍 2021年刊)

明確な答えを導き出せた時代からここ数年は正解がない課題にどう取り組むかを考える時代と言われる。著者は、このような不安定な時代において個々が心の平静を保つためのヒントと仕事は一つの組織に所属してするのではなく個々の手が届く範囲で複数組み合わせること—古くからの日本の生活スタイルを紹介されている。この本との出会いを頂いた図書館「おすすめの本のコーナー」と共におすすしめしたい。



みんなのおすすめ本 数珠つなぎ

第36回

今回は、尼崎えびす神社宮司 太田垣 亘世さんです。お楽しみに！

10月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
①	2	3	4	5	6	7◆
⑧	⑨	10	11●	12	13	14◆
⑮	16	17	18	19	20	21◆
⑳	23	24	25●	26	27	28◆
㉑	30	31				

開館時間 **9:00~20:00**

※ □印は休館日です。

※ ○囲み(日・祝)の開館時間は17:15まで。

**10月第2火曜日の
「朗読の会 おはなし玉手箱」は、
休館日のためお休みです。**

※次回は、11月14日(火)です。



◆おはなしの会

14:10~14:25 子ども(0~3歳くらい)と保護者

14:30~14:50 4歳くらい~小学生と保護者

14:55~15:15 小学生



●コアラくらぶ

11:00~11:30 0~3歳と保護者

詳細はホームページまたは子ども向け図書館日より
「本と友だち」をご覧ください

ビブリオバトル尼崎 秋の陣



【日時】11月11日(土) 11:00~12:00

【場所】尼崎城址公園 芝生広場

(雨天・強風時は中央図書館内)

【テーマ】きく

発表希望者は電話または直接、中央図書館まで。

(TEL: 06-6481-5244)

観覧は申し込み不要です。お気軽にどうぞ!

バリアフリー読書展

~見て、聞いて、触って楽しむ本の世界~

【日時】11月4日(土) 14:00~16:00

【場所】中央図書館1階 セミナー室

「点字の名刺」づくりや、布でできた
「さわる絵本」の紹介の他、視力に
障がいのある方に役立つ機器などを
展示します。

参加は申し込み不要です。

お気軽にどうぞ!



担当者のつぶやき

いよいよ読書週間が始まります! 図書館でも行事をたくさん行います。ぜひご参加ください。先日、表紙の色がきれいな本を手に取り、一話ごとに妖怪の挿絵が載っていたので面白そう、と借りた本が、実話を集めた怪談集でした! 読むごとにゾクゾクしながら秋の夜長を楽しんでいます。(M.Y)



11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	③	4
⑤	6	7	8	9	10	11
⑫	13	14	15	16	17	18
⑰	20	21	22	⑳	24	25
㉑	27	28	29	30		